

【米田主宰の俳句】

海を見て

米田規子

地下鉄の新しい街青ぶどう  
黒南風やくねくね曲がる上り坂  
カンナの黄の華やぐあたり睡魔くる  
七月や自転車漕いで海を見て  
細くほそく刻む甘藍背を丸め  
パリー祭ピタピタ夜の化粧水  
冷房の効いてぎくしゃくする二人  
打水のあとの夕空深く吸う  
ふるさとへ吾は旅人蟬時雨  
四年目の半分が過ぎ緑陰に